

# 例会報告 Rotary



第2757回例会  
令和6年10月11日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 米澤 久二
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 田中 晶洋
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 阪下 六代

地区大会報告

## <会長の時間>

副会長 塚本 直人

みなさん、こんにちは。今日は米澤会長が新型コロナに感染され欠席のため、副会長の塚本が代行してお話いたします。初めての会長挨拶の機会です。かなり緊張していますので、スムーズにお話しできるかどうか不安ですが、精いっぱいスピーチします。

米澤会長はよく卓球やテニスの話をされていましたし、スポーツの日も近いので、私事ですが、運動に関する最近の取り組みと挑戦についてお話しします。

昨年より西ロータリークラブゴルフ同好会に入会しました。幹事の役を拝命したことも、ひとつのきっかけで、20年以上遠ざかっていたゴルフをこれから先のスポーツとして再開しました。田中武さん、岡田さん、田近さんらの大先輩に声をかけていただき、現在は、毎回最下位ですが挑戦しています。

実は、もう一つ取り組んでいるのが自転車です。毎朝ではありませんが、自宅を5時に出発し、国府の名張橋で折り返し、瓜峠峠を越え、ときどき、猿やカモシカ、ムジナやリスにも出会います。清見の三日町でまた折り返して自宅に帰ると約1時間40分ほどのサイクリングになります。こちらは3年前から、少しずつ距離を伸ばして、この距離となりました。

長男が岐阜市で高校に通い始めた3年前、「お父さんも、自転車で岐阜に行くぞ」とぼろっと言ってしまったために始まった自転車乗りですが、今は朝の楽しみです。

実は13日の日曜日、いよいよ岐阜行を決行する日が来ます。会長挨拶の大役が、思いがけず発表の機会になりました。次回のニコニコにて結果をご報告します。無理せず、安全に、楽しくいってきます。紅葉には早いですが、せせらぎ街道を走ります。良いお知らせができるように取り組みます。

以上で会長代行のお話とします。ご清聴ありがとうございました。



## <出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
24名	—	24名	36名	70.59%

## <本日のプログラム>

### 地区大会報告

内田 幸洋

今年の地区大会で初めて名張市を訪ねました。大会の内容等については後の人にお任せするとして、私は名張市について少しお話しします。

名張市は三重県の中央部の西側にあり奈良県に接する人口7万認の市であります。万葉の昔から宿駅として開け、壬申の乱に際し大海人皇子（後の天武天皇）が東国へ逃れる際にも当地を経由したとして古くからその名を残しています（国府の名張との縁があるとかないとか?）。672年壬申の乱は弘文天皇に対し皇弟大海人皇子が反乱兵を挙げ勝利するという日本では例を見ない内乱です。また、1961年（昭和36年）に起きた『名張毒ぶどう酒事件』でもその名が全国に広まりました。



杉山 和宏

10月6日、三重県名張市まで地区大会へ行ってきました。高山からはなかなか遠いところで、4時間しっかり掛かりました。途中、一宮や亀山など渋滞エリアを通ることもあり、朝6時出発と早朝からの行程でしたが、中央クラブは朝5時出発だったそうです。

会長、幹事は前日から出席のため、副幹事の私がバスを任されましたが、田邊さんが出席されているやっただきだったので、楽をさせていただきました。ちなみに、今日の地区大会報告は公平にくじで決めさせていただきました。

途中渋滞もなく、10時過ぎに会場に無事到着しました。ちょうど名張市長が話しておられた大会式典の途中から、前から3列目の席へ入場し目立ってしまいました。

一番記憶に残っているのは、柔道家野村忠宏さんの記念講演でした。96年のアトランタ、2000年のシドニー、04年のアテネのオリンピックで金メダル3連覇を達成された方です。3度も金メダルを取ったということで、天才的に強い人なんだろうという先入観で聞き始めましたが、実際はかなり努力家だったことが分かりました。もともと祖父が柔道場を開き、父も兄も柔道家という家族でしたが、当初は野球部、サッカー部、高校から柔道を真剣に始めるも全く勝てなかったそうです。きっかけは大学2年の先生から「メニューをこなすだけでは勝てない。何にどう取り組むか」



## <幹事報告>

◎ガバナー、地区大会実行委員長より

・2024-2025年度 地区大会参加の御礼

◎高山市立宮中学校長より

・キャリアでまえ講座御礼

◎高山あすなろ会より

・第49回飛騨児童・生徒木工工作コンクールのお礼

◎高山市青少年市民会議より

・「第41回家族スナップ写真展」の作品募集について（ご依頼）

募集内容 家族スナップ写真  
募集期間 10月1日（月）～11月29日（金）  
作品受付 市役所生涯学習課および各支所地域振興課  
展示期間 令和7年2月1日（土）～2日（日）  
会場 高山市民文化会館 3-11



## 例会報告

かを真剣に考えろ。」と教えられたことでした。その後急速に強くなり、大学4年にはオリンピックで金メダルを取りました。3回金メダルを取るにあたり、それぞれ心の持ち方、攻め方が違いました。1回目は得意の背負い投げを生かして攻める、不安を出さない、諦めない。2回目は相手に研究をされないよう技を増やす。3回目に至っては怪我也抱えるなかで2年間柔道を離れてアメリカで生活し、プライドを捨てて負ける覚悟もした上でオリンピックに向かったそうです。

40歳で現役を引退し「柔道こそ自分の人生」と思われたそうですが、演題の「折れない心」が示すように、情熱と覚悟をもって今しかできないこと、自分しかできないことを真剣に考え知識、技術を磨くことがもっとも大切だと言われました。また、柔道などの武道では「心技体」とよく言われるように、いろんなことに取り組みるのは健康あってこそということでした。

現在50歳ということで同年代ですが、とても若々しく落ち着いた強いエネルギーを感じる方で、とても共感しました。あつという間の45分でした。こういった著名な方の講演を聴けるのも大会ならではであり、次回も参加したいと思います。

講演の後は乾杯、大昼食会の予定でしたが、大会スケジュールが20分押ししていたことや、バスの返却時間もあり、休憩時間に早弁のようにお弁当を食べ、13:30には会場を出発しました。おかげで無事17:30には高山に到着出来ました。想像以上の弾丸ツアーとなりました。楽しく有意義な地区大会となりました。

### 大屋 尚史

過日は地区大会に参加させていただいてありがとうございます。先輩方が、大会の内容についてはお話されておりますので、私は、私自身が参加させていただいて感じた感想のようになってしまいますが、お話しさせていただきます。



まず、私は入会させていただいてまだ2年目ですが、参加されたメンバーは大先輩ばかりであり、私が一緒させていただいて大変恐縮いたしました。また、到着時の名張市長の講話をはじめ、肩書のある方々が次々に登壇され、圧倒されてしまいました。

その中で、印象に残ったのはやはり野村忠弘選手の店話であり、大変感銘を受けました。会社の朝礼時、感銘をうけた話を職員に伝えたのですが、「しらっ」とされてしまい、同じ内容であっても、野村選手が語るのと、私が話すのでは受け手の印象があまりに違うということを痛感し、ロータリーでもご教示いただいていた「人間力を高める」ことを引き続き実践することが私には必要であると強く感じました。

野村選手は柔道一家に育ち、祖父が地元で子供相手の柔道教室を開いていたとのことですが、「子供に柔道を教育するのに厳しい指導は必要ない、柔道が楽しいと思えば自然と柔道を続ける」と語っており、戦前に、現代のような教育を実施していたということに驚きました。またオリンピックで3連覇というすばらしい実績を残しましたが、必要なこととして「明らかな目標」「最後まであきらめない姿勢」を語っており、加えて「変化すること、できること」、なにより「体を大切に」と語っておられ、少しでも見習い、近づきたいと感じました。

それほど立派な実結を残した野村選手であっても、当初は弱小で最初から順風満帆なわけではなかった。高校入学時に監督であった父がかけた言葉は、1歳年上の兄には「人の3倍練習しろ」自分には「無理して柔道やらなくてもいいんだぞ」であり、その言葉に発奮したとのこと。同じ言葉をかけられて、挫折してしまう人間いるかもしれないが、やはり強い心の持ち主であったと思います。何事も前向きにとらえ行動することの大切さも学ばせてもらった講演でした。

## <ニコニコボックス>

### ●米澤 久二さん、塚本 直人さん、田中 晶洋さん

先日の国際ロータリー第2630地区大会に参加された皆様、お疲れ様でした。多くの学びを頂けた地区大会となりました。本日は3名の方に報告をして頂きます。内田さん、杉山さん、大屋さん宜しくお願ひ致します。なお本日は米澤会長が欠席のため塚本副会長が代行します。

### ●内田 幸洋さん

名張市での初めての地区大会に参加して、とても有意義な時間を過ごしました。会長幹事さん、ありがとうございました。

### ●川瀬 裕之さん

新徳高ロープウェイ山頂駅終演の園地が、今朝グランドオープンしました。これからは観光客だけでなく、地元・飛騨高山の皆さんに親んでもらえるよう努めて参りますのでよろしくお願ひします。

### ●伊藤 松寿さん、田近 毅さん、斎藤 章さん、遠藤 隆浩さん、

堺 和信さん、下屋 勝比古さん、杉山 和宏さん、堀 幸一郎さん  
秋の高山祭が、比較的天候にも恵まれ盛大に行われました。平日の開催でしたが、5年ぶりに宵祭りも行われ、人出は昨年より7万人多い18万2千人でした。春と秋の祭りが、2日とも天候に恵まれ、宵祭りが行われたのは本当に珍しいことです。祭りの担い手不足に様々な取り組みをされ、苦勞されながら伝統を守り続けている屋台組や関係者に頭が下がります。多くの観光客に来て頂いた事に感謝しニコニコへ。

